

企業向け 若年性認知症セミナー

埼玉県 福祉部 地域包括ケア課

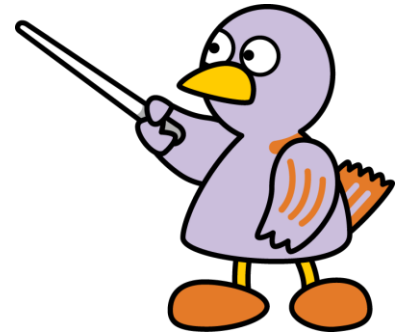


埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」



埼玉県における若年性認知症の施策について

- 1 若年性認知症とは
- 2 高齢者の認知症との違い
- 3 共生社会の実現を推進するための認知症基本法について
- 4 若年性認知症支援コーディネーターについて



1 若年性認知症とは

定義	65歳未満で発症する認知症
特徴	症状は高齢者の認知症と同じだが、発症年齢が若いため、多くの課題に直面する。
状況	人口10万人あたりの有病率 約50.9人 埼玉県内では約2,200人いると推計されている。
課題	<ul style="list-style-type: none">・ 若年性認知症になった場合の雇用の継続や新たな雇用の確保・ 高齢者が利用する一般のデイサービス等には馴染みにくく、家に閉じこもりがちになり、症状の進行や家族への過度な介護負担につながる。



2 高齢者の認知症との違い

発症年齢が平均54歳で、男性に多い。

経済的な問題が大きい

初期症状が認知症特有のものではなく、診断しにくい

身体機能は保たれていることが多く、外見では分からない

主介護者が配偶者に集中する

家庭内での課題が多い



3 共生社会の実現を推進するための認知症基本法について

共生社会の実現を推進するための認知症基本法(以下、認知症基本法)

令和5年6月15日成立、令和6年1月1日施行

(目的)

第一条 この法律は、(中略) 認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、(中略) 認知症施策を総合的かつ計画的に推進し、もって認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会(以下「**共生社会**」という。)の実現を推進することを目的とする。



3 共生社会の実現を推進するための認知症基本法について

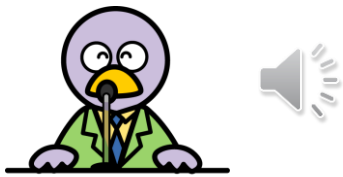
認知症施策推進基本計画 令和6年12月3日閣議決定

基本的施策3. 認知症の人の社会参加の機会の確保等

- (3) 多様な主体の連携・協働の推進による若年性認知症の人等の就労に関する事業主に対する啓発・普及等

基本的施策5. 保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備等

- (2) 保健医療福祉の有機的な連携の確保



4 若年性認知症支援コーディネーターについて

● 若年性認知症支援コーディネーターとは

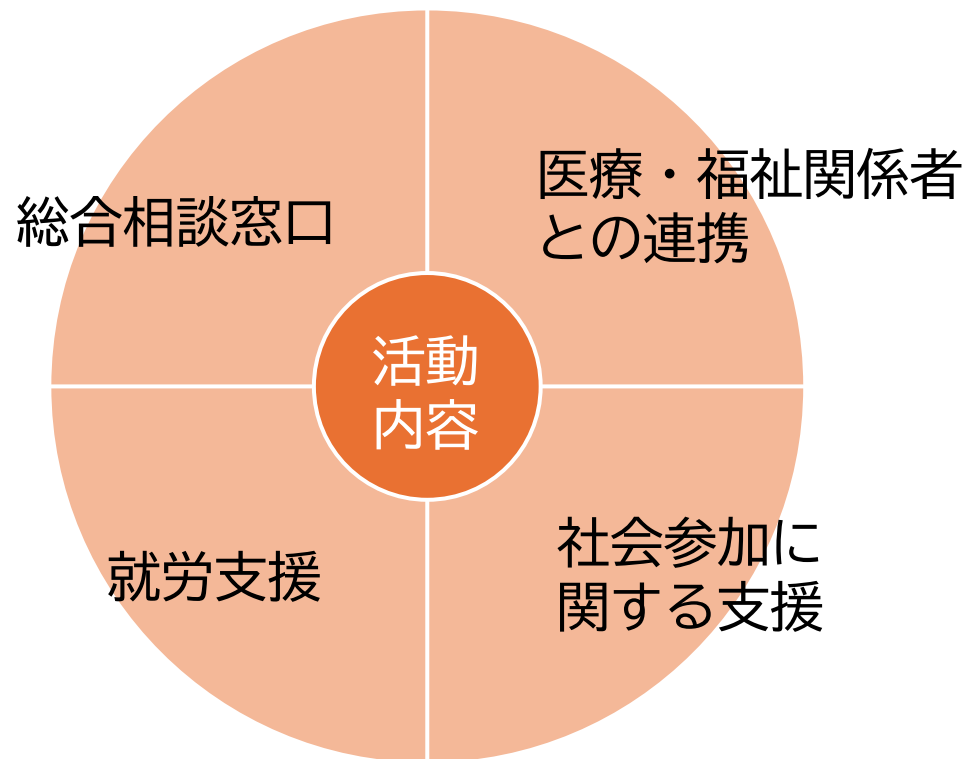
若年性認知症の人やその家族を支援するために、関係機関やサービス担当者との「調整役」として、若年性認知症の人が自分らしい生活を維持できるよう、総合的なコーディネートを行います。



4 若年性認知症支援コーディネーターについて

各都道府県においては、若年性認知症の人やその家族からの相談窓口を設置し、そこに若年性認知症支援コーディネーターを配置しています。

⇒埼玉県では、「埼玉県・さいたま市若年性認知症サポートセンター」にコーディネーターを3名配置しています。



4 若年性認知症支援コーディネーターについて



忘れることが多く、仕事上ミスが目立っている。

物忘れ外来の受診を勧めているが、本人が拒否している。

社員が若年性認知症の診断を受けたが、どう支援したらよいかわからない



埼玉県・さいたま市若年性認知症サポートセンターにご相談ください

看護師、社会福祉士、介護支援専門員などの専門の資格と経験を有した若年性認知症支援コーディネーターがご相談に応じます。お気軽にご相談ください。

電話番号：

048-814-1212

月～金 9:00 ～ 16:00

※年末年始・祝日除く



埼玉県における若年性認知症の施策について

埼玉県ホームページ「若年性認知症に関する取組について」
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0609/ninchisyosesaku/jakunen.html>

彩の国 埼玉県
Saitama Prefecture

● Foreign Language ● 文字サイズ・色合い変更 ● 音声読み上げ ● ふりがなON

Google 検索

組織から探す

トップページ | くらし・環境 | 健康・福祉 | しごと・産業 | 文化・教育 | 県政情報・統計 | 緊急・防災

トップページ > 健康・福祉 > 高齢者福祉 > 認知症施策 > 若年性認知症に関する取組について

印刷 ページ番号：19889 掲載日：2025年10月9日

認知症施策

- ▶ [埼玉県認知症介護研修について](#)
- ▶ [認知症サポート企業について](#)
- ▶ [認知症について](#)
- ▶ [身元不明者情報に関する特設ページ](#)
- ▶ [認知症サポーター養成講座について](#)
- ▶ [キャラバン・メイトについて](#)
- ▶ [若年性認知症に関する取組について](#)
- ▶ [認知症疾患医療センター](#)
- ▶ [認知症カフェの紹介](#)
- ▶ [埼玉県認知症ケア技術向上事業について](#)
- ▶ [認知症電話相談窓口及び交流集会（つどい）](#)
- ▶ [世界アルツハイマーデー（認知症の日）のご案内](#)
- ▶ [埼玉県認知症高齢者等行方不明SOSネットワークについて](#)

若年性認知症に関する取組について

- [若年性認知症とは](#)
- [若年性認知症に関する埼玉県の相談窓口](#)
- [埼玉県若年性認知症実態調査の実施について](#)
- [若年性認知症の本人・家族交流会](#)
- [子ども世代のつどいを開催しています](#)
- [若年性認知症の人のデイサービス創業の手引き](#)
- [若年性認知症に関するリーフレット](#)

若年性認知症とは

● 認知症は高齢者の病気と思われがちですが、いわゆる「現役世代」と呼ばれる人々にも発症することがあります。

● 若年性認知症は、65歳未満で認知症が発症した場合を総称した言い方です。

● 若年性認知症が発症する平均年齢はおおむね54歳と推計されています。これは、組織の中核や一家の大黒柱として、大変重要な時期に当たります。そのため、就業や家族の生活に深刻な影響を及ぼすことになりかねません。

● 現在のところ、多くの場合、認知症を直すことは困難ですが、病気の進行を遅らせたり、症状を改善したりすることができるものも少なくないことから、早期発見・早期治療が非常に重要です。

● 若年性認知症の方やその御家族が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らしていくことができるよう、地域や職場における皆さまがたのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

若年性認知症に関する埼玉県の相談窓口

